

各国のスポーツ再開に向けたガイドライン一覧表

※下記表の情報は2020年7月8日時点のものであり、笹川スポーツ財団のWebサイト上で過去に紹介してきた情報から更新がされている可能性がある。また今後も情報の更新・変更がある可能性がある

※下記表には、国全体に対してスポーツ関連活動の再開に資する情報を包括的に提供している資料を載せており、国内の一部地域や一部競技を限定的に対象とした文書は含まないものとする。またスポーツを主眼としておらず、内容の一部でスポーツ関連活動に触れているものについても除外する

国名	公開日 (最新更新日)	名称	発行者				対象				概要	リンク先 (日本語以外のサイトを含む)
			行政機関等	統括団体等	一般個人	プロスポーツ/ 競技スポーツ	スポーツ イベント	その他				
日本	2020/4/27 (2020/5/22)	安全に運動・スポーツをするポイントは？	スポーツ庁			●					新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛時において、感染拡大を防止しつつ、安全・安心にウォーキングやジョギング等の運動・スポーツに取り組むために配慮しなければならない事項をまとめている (運動やスポーツを始める前の体調確認、感染予防のための基本的な対応、運動・スポーツの種類ごとの留意点、記録の保存等)	https://www.mext.go.jp/sports/content/20200522-spt_sseisaku01-000006777_2.pdf
	2020/5/22 (2020/5/25)	スポーツ活動再開時の新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防について		公益財団法人日本スポーツ協会			●				スポーツ活動再開時の新型コロナウイルス感染症対策とあわせた熱中症予防について、そのポイントをまとめて公開している。周囲の人と距離を空ける、こまめに手洗いあるいはアルコール消毒を行う、スポーツ活動に支障のない範囲でマスクを着用するという3つの基本的な対策に加えて、体力低下と暑熱順化に配慮する、日頃の体調管理と体調チェックを徹底する、マスクを着用しない場合は周囲の人との距離を十分に空けるという3つをスポーツ再開時に配慮すべき事項として挙げている	https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4164
	2020/5/14 (2020/5/29)	スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン		公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会					●		政府が示した「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を受けて、各種スポーツイベントを再開するに当たっての基準や、再開後の開催時における感染拡大予防のための留意点について、専門家会議の提言等を参考にまとめている (イベント再開に当たっての基本的考え方、イベント開催・実施時の感染防止策等)	https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline2.pdf
	2020/5/14 (2020/5/29)	スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト		公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会					●		上記ガイドラインの内容を踏まえて、各スポーツイベントの主催者がイベント特性を加味して作成する必要があるチェックリストのサンプル。イベント主催者は当該サンプルに各スポーツイベントの特性等を勘案して、適宜追加や修正を行う必要がある (スポーツイベントの参加募集時の対応、当日の参加受付時の留意事項、スポーツイベントの主催者が準備等すべき事項、参加者が運動・スポーツを行う際の留意点等)	https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline_checklist.pdf
	2020/5/20	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン	独立行政法人日本スポーツ振興センター				●				ハイパフォーマンススポーツセンターの施設を利用してスポーツ活動を実施するアスリート向けに、国内外の医・科学的な文献や資料を参考として策定された、段階的なスポーツ活動再開の基盤となるガイドライン (新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の概要、再開ガイドラインの考え方、トレーニング再開に向けた準備等)	https://www.ipnsport.go.jp/hpsc/Portals/0/katoudousaikaiguideline.pdf
	2020/5/21	学校の体育の授業におけるマスク着用の必要性について	スポーツ庁							●	学校 体育授業	各教育機関や教育委員会等に向けて、学校の体育の授業におけるマスク着用の必要性や新型コロナウイルス感染リスク軽減のための注意点を示している。体育の授業中は熱中症や十分な呼吸確保の観点からマスクの着用は必須ではないとした上で、生徒間の距離の確保、屋外での授業実施の推奨 (屋内の場合は激しい運動を避け、こまめな換気や消毒を実施)、体調不良の生徒への対応、教師のマスク着用、生徒が密集したり近距離で組み合ったりするような運動は当面実施しないこと等がリスク軽減対策として示されている
ドイツ	2020/4/28 (2020/7/6)	DOSBの10の原則 (Die zehn Leitplanken des DOSB) (その後内容が見直され、現在は9の原則+9の追加原則という形となっている)		ドイツオリンピックスポーツ連盟 (Deutscher Olympischer Sportbund : DOSB)		●	●	●			連邦全土にわたる国の感染予防方針に沿ったスポーツ活動再開に関する「10の原則」。州ごとに異なる感染予防措置や衛生規則に関係なく、十分な運動機会の提供方法に関する全国 (統一) 的な基盤となっている。原則の内容はその後見直しが行われ、距離規則の遵守、身体接触を最小限に制限、屋外活動を活用、衛生規則遵守、クラブハウス・更衣室の使用人数の制限、イベント・大会の実施に関して、トレーニンググループ縮小、重症化リスクグループの保護、継続的な警戒とリスク回避の9つの項目が定められている。その上で、7月6日までに追加原則として、屋内施設でのスポーツ活動に関する4つの原則と大会実施に関する5つの原則が公表されている	https://www.dosb.de/medien-service/coronavirus/sportartspezifische-uebergangsregeln/?Leitplanken
オーストラリア	2020/5/1	スポーツ・レクリエーション活動の再開に関する原則 (National principles for the resumption of sport and recreation activities)	国家内閣 (National Cabinet)			●	●	●			今後のスポーツ・レクリエーション活動の再開に向けた15の原則を示している。原則には各競技団体の医務官の意見も反映されている (活動再開のメリット、活動再開の判断、屋外での活動の推奨、集団の人数制限、無観客試合の推奨等)	https://www.health.gov.au/resources/publications/coronavirus-covid-19-national-principles-for-the-resumption-of-sport-and-recreation-activities
	2020/5/1 (2020/5/8)	スポーツ再開に向けたフレームワーク (AIS Framework for Rebooting Sport)	オーストラリア・スポーツ研究所 (Australian Institute of Sport : AIS)			●	●	●			競技団体や地域スポーツの運営者が、「どのように」スポーツの再開を目指していくべきかについて参考となるガイドライン。競技団体の医務官や連邦政府の首席医務官のアドバイスを受けて策定され、国家内閣が定めた原則とも整合する形となっている (スポーツの段階的な再開に向けた3つのレベル、各レベルで実施可能な競技や練習内容、感染拡大を防ぐための施策、観客への対応等)	https://www.ais.gov.au/health-wellbeing/covid-19/ais-framework-for-rebooting-sport
	2020/5/24	スポーツ再開のためのツールキット (Return to Sport)	スポーツ・オーストラリア (Sport Australia)			●	●	●			国全体で運営を行う中央競技団体から、特定地域の小規模なスポーツ運営を行う団体まで、全ての団体が実務面で活用できるツール (スポーツ再開に向けた包括的なチェックリスト、安全なスポーツ再開に向けた安全計画 (COVID-19 Safety Plan) のテンプレート、政府が提供する手洗いやソーシャルディスタンス推進のポスター画像や映像、スポーツクラブや施設への入場者記録簿のテンプレート等)	https://www.sportaus.gov.au/return-to-sport
ニュージーランド	2020/4/24 (2020/6/9)	警戒レベル4, 3, 2, 1における遊び、アクティブ・レクリエーション、スポーツ (Play, Active Recreation and Sport at Alert Level 4 & 3, 2, 1)	スポーツ・ニュージーランド (Sport New Zealand)			●	●	●			遊び、アクティブ・レクリエーション、スポーツに関して、政府が新型コロナウイルス感染拡大対策として導入している4つのレベルからなる警戒システムにおいて、各警戒レベルでどのような活動が許可されるか、活動する上でどのような注意点があるか、具体的な例を交えて示している	https://sportnz.org.nz/covid-19/alert-level-information/
	2020/6/8	イベント業界の新型コロナウイルスに関する自主的行動規範 (New Zealand Events Sector Voluntary Code Addressing COVID-19)	スポーツ・ニュージーランド (Sport New Zealand)	イベント関連業界団体					●		警戒レベル1への緩和に伴い、ほとんどの制限や要件が撤廃されたイベント業界が今後も新型コロナウイルス感染のリスクを最小限に抑え、再度の感染拡大が起きないように、また仮に再度感染拡大が起きてしまった場合に備えられるように定めた自主的行動規範 (保健省が定めるガイドラインの導入、接触者追跡のための記録支援、適切な衛生施策の実施、参加者全員への協力依頼等)	https://sportnz.org.nz/covid-19/sector-advice/events-sector-voluntary-code/
英国 (イングランド)	2020/5/13 (2020/7/7)	エリートスポーツ トレーニング再開に向けたガイダンス ステージ1 (Elite sport return to training guidance Stage One) エリートスポーツ トレーニング再開に向けたガイダンス ステージ2 (Elite sport return to training guidance Stage Two) エリートスポーツ 国内での無観客試合再開に向けたガイダンス (Elite sport return to domestic competition guidance) エリートスポーツ 海外からの参加者を含む試合の再開に向けたガイダンス (Elite sport - return to cross border competition guidance)	デジタル・文化・メディア・スポーツ省 (Department for Digital, Culture, Media & Sport : DCMS)				●	●			プロスポーツやオリンピック・パラリンピック競技の再開を目指す上で5段階のステージを示しており、各段階でアスリート・競技団体・施設提供者・運営スタッフ・サポートスタッフ等、全ての関係者が守らなければならない要件や基準を記載している。元の記事 (スポーツ活動の再開に向けて第5回) では紹介できていないが、7月7日にDCMSはエリートスポーツの再開に向けたガイダンスのステージ4にあたる「海外からの参加者を含む試合の再開に向けたガイダンス」を発表している。ステージ1~3のガイダンスで示した要件や基準に加えて、海外からの参加者 (アスリート・コーチ・サポートスタッフ・運営スタッフ等) と海外の大会に参加した後に英国に帰国した参加者が守るべき要件・基準を記載している	https://www.gov.uk/government/publications/coronavirus-covid-19-guidance-on-phased-return-of-sport-and-recreation
	2020/6/1 (2020/7/7)	一般個人向け屋外スポーツ・レクリエーションの段階的再開に向けたガイダンス (Guidance for the public on the phased return of outdoor sport and recreation in England)	デジタル・文化・メディア・スポーツ省 (Department for Digital, Culture, Media & Sport : DCMS)			●					一般個人向けに政府が発表しているルールの下で、屋外スポーツ・レクリエーションに関してどのような活動が可能か、またルールの緩和前からの変更点はどのようなものかを整理した上で、さらに具体的に、移動を伴う活動、新型コロナウイルス重症化のリスクが高いグループの扱い、子連れでの活動、スポーツ施設の再開、共用設備や用具の扱い、屋内施設や食堂等の扱い等について注意点を記載している。後半部分では競技ごとの補足事項を一覧化している	https://www.gov.uk/government/publications/coronavirus-covid-19-guidance-on-phased-return-of-sport-and-recreation/guidance-for-the-public-on-the-phased-return-of-outdoor-sport-and-recreation
	2020/6/1 (2020/7/7)	パーソナルトレーナー・コーチ向けスポーツ・レクリエーションの段階的再開に向けたガイダンス (Guidance for personal trainers and coaches on the phased return of sport and recreation in England)	デジタル・文化・メディア・スポーツ省 (Department for Digital, Culture, Media & Sport : DCMS)							パーソナルトレーナー・コーチ	スポーツ・レクリエーションのパーソナルトレーニング・コーチのサービス提供再開に関する条件や留意事項を記載している (屋外のみ、同居人以外は5名まで、対人距離の確保等)	https://www.gov.uk/government/publications/coronavirus-covid-19-guidance-on-phased-return-of-sport-and-recreation/guidance-for-personal-trainers-and-coaches-on-the-phased-return-of-sport-and-recreation

各国のスポーツ再開に向けたガイドライン一覧表

※下記表の情報は2020年7月8日時点のものであり、笹川スポーツ財団のWebサイト上で過去に紹介してきた情報から更新がされている可能性がある。また今後も情報の更新・変更がある可能性がある

※※下記表には、国全体に対してスポーツ関連活動の再開に資する情報を包括的に提供している資料を載せており、国内の一部地域や一部競技を限定的に対象とした文書は含まないものとする。またスポーツを主眼としておらず、内容の一部でスポーツ関連活動に触れているものについても除外する

国名	公開日 (最新更新日)	名称	発行者				対象				概要	リンク先 (日本語以外のサイトを含む)	
			行政機関等	統括団体等	一般個人	プロスポーツ/ 競技スポーツ	スポーツ イベント	その他					
	2020/6/1 (2020/7/7)	屋外施設提供者向けスポーツ・レクリエーションの段階的再開に向けたガイダンス (Guidance for providers of outdoor facilities on the phased return of sport and recreation in England)	デジタル・文化・メディア・スポーツ省 (Department for Digital, Culture, Media & Sport : DCMS)							施設提供者	一部の例外を除いて営業再開が可能になった屋外スポーツ施設に関して、営業再開に向けて施設提供者が守らなければならない公衆衛生の基準、利用者に対するコミュニケーションの重要性、衛生施策の例、従業員や顧客の安全確保のための施策、飲食店や駐車場の再開等について記載している	https://www.gov.uk/government/publications/coronavirus-covid-19-guidance-on-phased-return-of-sport-and-recreation/guidance-for-providers-of-outdoor-facilities-on-the-phased-return-of-sport-and-recreation	
英国 (ウェールズ)	2020/6/15	スポーツ・レクリエーション・レジャー活動の段階的再開に向けたガイダンス (Sport, recreation and leisure: guidance for a phased return)	ウェールズ政府			●	●	●			スポーツ関連活動をエリート・プロスポーツ、屋外スポーツ、屋内スポーツ・レジャー施設の3つに分類して、それぞれについて現状、今後の課題、具体的なガイダンスを提示している。また後半部分では、競技団体・スポーツクラブ・施設運営者に向けた詳細なガイダンス、ウェールズ政府が公開しているその他の新型コロナウイルス関連のガイダンス、現状の規制の中で実施可能な活動の例と実行する際の注意点を記載している	https://gov.wales/sport-recreation-and-leisure-guidance-phased-return-html	
英国 (スコットランド)	2020/6/18	フェーズ2における運動・屋外スポーツ (Phase 2 Extension to Exercise, Outdoor Sports)	スポーツスコットランド			●					スコットランド政府が、新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウンからの出口戦略として定めているルートマップのフェーズ2への移行に伴い、運動・スポーツに関する制限も一部が緩和されることになり、本ガイダンスでは競技団体向けに緩和内容の具体的な内容を提示している。資料内では全体に共通するガイダンス、施設・会場の運営に関するガイダンス、参加者に対するガイダンスの3つに分けて記載されている	https://sportsotland.org.uk/media/5782/phase-2-return-to-physical-activity-outdoor-sport-guidance-180620-final.pdf	
	2020/5/28 (2020/6/29)	パフォーマンススポーツの再開に向けたガイダンス (Resumption of Performance Sport Guidance) フェーズ2におけるパフォーマンススポーツの再開ガイダンス (Phase 2 Resumption of Performance Sport Guidance)	スポーツスコットランド				●				スポーツスコットランドはDCMSのガイダンスと同じく5段階でパフォーマンススポーツ (プロスポーツ・競技スポーツ) の再開を目指していくことを示しており、スコットランド政府が6月18日をもってルートマップのフェーズ2への移行を宣言し、パフォーマンススポーツについても2段階目のステップ2に入るとしている。ガイダンスの中では、各ステップにおいて実行可能な活動、再開に向けたステップ、遵守すべき事項等を競技団体・クラブ運営者・サービス事業者・ハイパフォーマンススポーツ向けトレーニングセンターの運営者等に示している	https://sportsotland.org.uk/covid-19/latest-outdoor-sport-and-physical-activity-guidance/	
英国 (北アイルランド)	2020/6/4	スポーツ・レクリエーションの再開に向けたフレームワーク (A Framework to guide progression towards a resumption of sport and physical recreation in Northern Ireland)	スポーツ北アイルランド			●	●				北アイルランド政府が発表した5段階のステップを、4つのフェーズにくり直し、それぞれのフェーズで、スポーツ・レクリエーションを6つのカテゴリ (屋外レクリエーション、ウォータースポーツ、非接触スポーツ、接触スポーツ (低リスク: サッカー、ホッケー等)、接触スポーツ (高リスク: ラグビー、レスリング等)、ハイパフォーマンス・プロスポーツ) に分類し、それぞれにおいてどのような活動が許可されるか、どのような注意があるかを整理している	http://www.sportni.net/sportni/wp-content/uploads/2020/05/Framework-for-resumption-of-Sport-and-Physical-Recreation-in-NI-Final-version-11.pdf	
米国	2020/5/29	ユーススポーツに関する考慮事項 (Considerations for Youth Sports)	米国疾病予防管理センター (Centers for Disease Control and Prevention : CDC)			●				ユーススポーツ	ユーススポーツを運営・管理する団体に向けて、ユーススポーツに参加する選手・家族・その他関係者の安全を確保して、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、考慮すべき事項を記載している (念頭に置くべき指針、ユーススポーツ活動のリスクによる段階分け、リスク評価、感染拡大リスクを最小化するための行動、最適な環境の整備、最適な運営体制の整備、体調不良者への対応等)	https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/youth-sports.html	
	2020/6/12 (2020/7/7)	イベント・集会に関する考慮事項 (Considerations for Events and Gatherings)	米国疾病予防管理センター (Centers for Disease Control and Prevention : CDC)					●			イベント・集会の企画者に向けて、安全なイベント実施を実現するために考慮すべき事項を記載している。対象となるイベント・集会は、実施場所や人数の規模を問わず、コンサート、お祭り、カンファレンス、スポーツイベント等あらゆるイベント・種会を含んでいる。(念頭に置くべき指針、イベント・集会の特性に応じたリスク分類、新型コロナウイルスの感染経路と対策、感染拡大リスクを最小化するための行動、最適な環境の整備、最適な運営体制の整備、体調不良者への対応等) 7月7日には一部内容の見直しと補足資料として「イベント・集会に関する準備状況と計画ツール (Events and Gatherings: Readiness and Planning Tool)」が公表された。当該ツールは「イベント・集会に関する考慮事項」本文の内容に基づいて作成されており、イベント主催者・計画者が新型コロナウイルス感染リスクを抑え込み、スタッフ・ボランティア・参加者の安全を確保しながら適切なイベント運営を準備・計画するために活用できるツールとなっている	https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/large-events/considerations-for-events-gatherings.html	
	2020/6/6	公園・レクリエーション施設管理者に向けたガイダンス (Guidance for Administrators in Parks and Recreational Facilities)	米国疾病予防管理センター (Centers for Disease Control and Prevention : CDC)							施設管理者	公園やレクリエーション施設を管理している地方行政機関や土地所有者に向けた安全な施設の利用・運営に関するガイダンス (ポスターや看板設置による衛生施策の啓発、化粧室の管理、スイミングプールの再開、イベント・集会の開催、遊具場の扱い、ユーススポーツ・キャンプの再開、ソーシャルディスタンスのルール、スタッフ間の情報共有等に関するガイダンスや考慮事項等)	https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/parks-rec/park-administrators.html	
	2020/4/30	新型コロナウイルス感染症流行後のトレーニング再開に関する考慮事項 (Return to Training Considerations Post-COVID-19)		米国オリンピック・パラリンピック委員会			●				アスリート・コーチ・競技団体を含むスポーツ団体に向けて、新型コロナウイルス感染のリスクが残る中でどのようにトレーニングを再開していくかに関する情報を記載している。新型コロナウイルス感染症の流行を5つのフェーズに分けて、それぞれのフェーズでどのような考慮事項があるかを示している	https://www.teamusa.org/-/media/583E88D9C2514F52816F8FC12F6FCA82.ashx	
	2020/5/7	新型コロナウイルス感染症流行後のスポーツイベント計画に関する考慮事項 (Sports Event Planning Considerations Post-COVID-19)		米国オリンピック・パラリンピック委員会					●			競技団体を含むスポーツ団体に向けて、スポーツイベントを計画する際に、どのように新型コロナウイルス感染症のリスクと向き合うかに関する情報を記載している (イベント中止の財務的な影響、イベントの日程、イベントの開催地、感染拡大のリスク、イベント計画等)	https://www.teamusa.org/-/media/8BE91F1CD574230BCD39CE0C779B592.ashx
	2020/5/5 (2020/5/27)	プレー (競技、フィットネス・娯楽活動) の再開 - 新型コロナウイルス感染症リスク評価ツール (Return to Play - COVID19 Risk Assessment Tool)		アスペン研究所 (Aspen Institute)			●					あらゆる年齢の人がスポーツ・レクリエーションの再開を検討する上で活用できるリスク評価ツール、新型コロナウイルス感染のリスクに応じて、各スポーツ・レクリエーションの活動を3段階のレベルに分類している	https://www.aspenprojectplay.org/return-to-play
ブラジル	2020/6/12	COVID-19 (新型コロナウイルス) の感染拡大を背景とするオリンピックスポーツの活動再開のガイドライン: 検証と考察 (GUIA PARA A PRÁTICA DE ESPORTES OLÍMPICOS NO CENÁRIO DA COVID-19: ESTUDOS E CONSIDERAÇÕES)		ブラジルオリンピック委員会 (Comitê Olímpico do Brasil : COB)		●	●				国内の多くの組織や団体の協力を得て作成された、アスリートたちが安全に十分配慮しながらスポーツ活動を再開するためのガイドライン。オリンピックスポーツだけではなく他の競技にも適用可能であるとしている (スポーツ施設の使用上の注意、施設の職員・関係者とアスリートへの医学的見地からのアドバイス、スポーツ活動実施へのアドバイス、ブラジルオリンピック選手専用トレーニングセンター (CCTB) 活動再開のガイドライン、体操競技、オリンピック研究室、水泳・水球・飛込競技、コンディショニング、治療と手当て、理学療法・マッサージ、メンタルケア、格闘技 (柔道、レスリング、ボクシング) 等)	https://www.cob.org.br/pt/cob/home/guia-esporte-covid	
カナダ	2020/6/1	新型コロナウイルス ハイパフォーマンススポーツの再開に向けたフレームワーク (COVID-19 Return to High Performance Sport Framework)		OWN THE PODIUM (Own the Podium) カナダオリンピック委員会 (Canadian Olympic Committee) カナダパラリンピック委員会 (Canadian Paralympic Committee)			●				アスリート、コーチ、サポートスタッフ等、ハイパフォーマンススポーツに関わる全ての関係者に対して、「どのように」ハイパフォーマンススポーツの再開を進めていくかを示す資料になっており、OWN THE PODIUM、オリンピック・パラリンピック委員会、各競技団体の代表者で構成されるタスクフォースが競技団体やスポーツ医学の専門家と連携して策定した。ハイパフォーマンススポーツの定義、スポーツ再開にあたっての前提条件、再開に向けた基準、新型コロナウイルス感染症の感染経路、マスクの着用、新型コロナウイルス感染症検査、大規模スポーツイベントの開催等の幅広いトピックに加えて、「スポーツ再開に向けた新型コロナウイルス感染リスク評価ツール (COVID-19 Risk Assessment Tool for Sport : R-SAT)」とスポーツの特徴を織り込んだガイドラインとして示されている「レベル別リスク軽減戦略一覧表」が含まれており、ハイパフォーマンススポーツの再開を目指す上で、適切なリスク評価とそれに基づいたリスク軽減戦略の策定に活用することができる	https://www.ownthepodium.org/en-CA/Resources/COVID-19-Resources	